

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2025年
12月号
Vol.72 No.844

巻頭言

学術と教育 市川重司

会 告

2026年「新春のつどい」のご案内

第25回合同学術講演会

第165回日暮里塾ワンコインセミナー

2025年度実践集中講習会－MRI装置/検査－

第166回日暮里塾ワンコインセミナー

第23回ウインターセミナー

お知らせ

2025年度第9地区研修会

2025年度第15地区研修会

報 告

東京都功労者表彰

連 載

災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」

第二部「アクションカードを作ろう」 2. アクションカードを利用した机上訓練

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

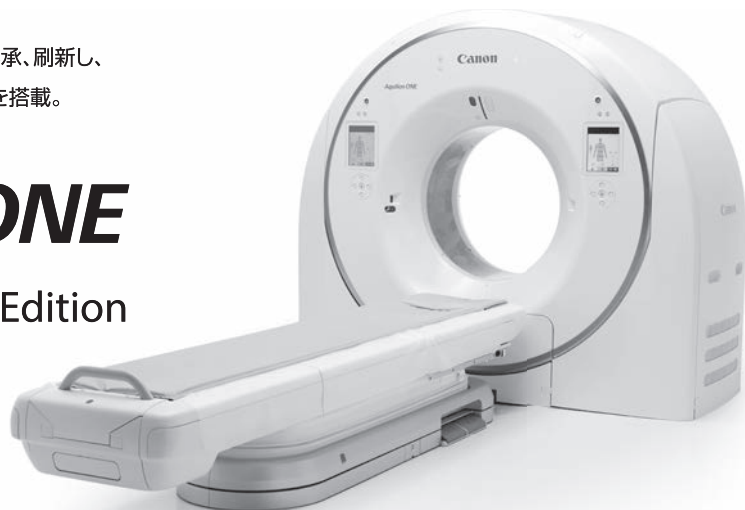
Canon

医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術※1を搭載。

Aquilion ONE

INSIGHT Edition



※1 自動化技術: 設計の段階で AI技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておりません。
【一般的名称】全身用X線CT診断装置 【販売名】CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A 【認証番号】305ACBZX00005000

B000893

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

光製薬の造影剤

処方箋医薬品[※]

非イオン性造影剤 薬価基準収載

イオヘキソール注シリンジ

イオヘキソール300注シリンジ50mL/80mL/100mL/110mL/125mL/150mL〔HK〕

イオヘキソール350注シリンジ70mL/100mL〔HK〕

(日本薬局方 イオヘキソール注射液)

処方箋医薬品[※]

非イオン性尿路・血管造影剤 薬価基準収載

イオバミドール300注シリンジ50mL/80mL/100mL〔HK〕

イオバミドール370注シリンジ50mL/65mL/80mL/100mL〔HK〕

(日本薬局方 イオバミドール注射液)

処方箋医薬品[※]

環状型非イオン性 MRI 用造影剤 薬価基準収載

ガドテリドール静注シリンジ

ガドテリドール静注シリンジ13mL〔HK〕

ガドテリドール静注シリンジ17mL〔HK〕

(ガドテリドール注射液)

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

<https://www.hikari-pharm.co.jp>



光製薬株式会社
(文献請求先及び問い合わせ先) 医薬情報部

〒111-0024 東京都台東区今戸2-11-15
TEL 03 (3874) 9351 FAX 03 (3871) 2419

2021年1月作成

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2025
DEC

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 学術と教育	3
業務執行理事 市川重司	
会告1 2026年「新春のつどい」のご案内	4
会告2 第25回合同学術講演会	5
学術委員会	
会告3 第165回日暮里塾ワンコインセミナー	6
学術委員会	
会告4 2025年度実践集中講習会—MRI装置/検査—	7
教育委員会	
会告5 第166回日暮里塾ワンコインセミナー	8
教育委員会	
会告6 第23回ウインターセミナー	9
学術委員会	
お知らせ1 2025年度第4地区研修会	10
第4地区委員会	
お知らせ2 2025年度第9地区研修会	11
第9地区委員会	
お知らせ3 2025年度第15地区研修会	12
第15地区委員会	
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	13
情報委員会	
報告 東京都功労者表彰	14
連載 災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」 第二部「アクションカードを作ろう」 2. アクションカードを利用した机上訓練 ...	16
こ え	
・2025年度第5地区研修会報告	19
成田拓海	
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.8）	20
・第25回合同学術講演会	21
・臨時甲状腺簡易測定研修のお知らせ	22
2025年4月～10月期会員動向	24
2025年度第6回理事会報告	25
2025年東京放射線総目次	29
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35

Column & Information

・学術講演会・研修会等の開催予定	24
・東放見聞録	33

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心して安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要求事項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

巻頭言



学術と教育

業務執行理事 市川重司

東放技は、医療技術職の専門性を高め、社会的責任を果たすために、「学術」と「教育」という二つの柱を中心に活動を展開している。両者は密接に関連しながらも、それぞれ異なる目的と機能を持ち、技師会としての職能向上において役割を果たしていると考ええる。

「学術」の役割は、知識の創造と専門性を深く探求することにある。技師会における学術活動は、臨床現場で得られた知見や課題をもとに、研究・分析を行い、考察を加え、学問的な成果として報告、発表することを目的とし、さらには、そのためのサポートをする側面もある。学術大会やシンポジウム、研究会、さらに学術誌の発行などを通じて、技術や知識のさらなる研鑽の提供、そして高度化を図るための活動は、医療技術職としての専門性と社会的価値を高めることにつながると考える。

学術は、もう一つの役割に、医療の質の向上と技術革新への貢献が挙げられる。新しい検査法や検査技術の開発、今ある技術の精度向上、医療安全（医療過誤、被ばく低減）の強化など、学術活動は医療現場の課題解決に直結する点が挙げられる。学術的な視点を持つことで、技師は他職種との連携やチーム医療においても積極的な役割を果たすことができる。これはチーム医療と言うワードで周知されている。学術は、技師の職能を「知的専門職」として位置づけるための基盤であり、社会的信頼の獲得にも寄与する。

一方、「教育」は、得てきた知識と技能の継承や人材育成にある。技師会における教育活動は、会員の能力向上を目的とした企画（研修会、講習会、セミナー）などを通じて展開される。教育は、診療放射線技師を目指す学生への支援から、現職技師の継続教育まで幅広く対応し、技師のキャリア形成を支える重要な機能を担っている。教育活動は、実践力の強化に重点を置いている。現場で即戦力となる知識と技能の習得を目指す。教育はまた、技師間の情報共有やネットワーク形成の場ともなり、職場を越えた連携や協働の促進にもつながると考える。教育を通じて、技師は医療の変化に柔軟に対応できる力を身につけ、患者中心の医療を支える存在として、組織（病院）の枠を越えて成長していく。

学術と教育は、目的やアプローチに違いがあるものの、技師会の活動においては相互補完的な関係にもある。学術活動によって生まれた新しい知見や技術は、教育を通じて会員に広く伝えられ、現場での実践に活かされる。教育を受けた技師が学術的な視点を持つことで、現場の課題を研究テーマとし、学術活動に参加するようになる。このような知識の創造と継承の循環が、技師会の活力を生み出し、医療の質向上に貢献している。

さらに、技師会が社会的責任を果たす上でも、学術と教育の両輪は欠かせない。学術は技師の専門性を社会に示す手段であり、教育はその専門性を持続的に維持・発展させる仕組みである。両者が連携することで、一たす一は二でなく、無限のパワーを持ち、それは医療の信頼性を高め、国民の健康を支える基盤としての役割を果たすこととなるだろう。

現在、東放技には学術委員会と教育委員会が活動をしている。異なる役割を担いながらも、技師の専門性向上と医療の質の向上という共通の目的に向かって機能している。今後は両者の連携をさらに強固なものにして、技師の職能を社会に発信していくことが、技師会の使命であり、医療の未来を支える鍵となるだろう。

会 告 1

2026年「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：2026年1月9日（金）19時00分～20時30分

（受付開始18時30分より）

開催場所：「アートホテル日暮里ラングウッド」 2階 鳳凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会費：5,000円

新卒かつ新入会員※の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

第25回 公益社団法人東京都診療放射線技師会 合同学術講演会 公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

テーマ「Road to “Radiology × All Tokyo!”」

来年度日本放射線技術学会東京支部と合同で学術大会を検討しており、大会テーマを「Road to “Radiology × All Tokyo!”」を予定しております。
今回の合同学術講演会はそれを踏まえて企画いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

- 【セッション1】(15:05～15:30) 座長：佐藤 英介先生（順天堂大学）
「Radiology × All Tokyo!」に演題を出すために
研究は日々の疑問から ～プロセスと学術支援の活用法～
講師：野坂 広樹先生（茨城県立医療大学）
- 【セッション2】(15:30～16:10) 座長：樋口 壮典先生（東京慈恵会医科大学附属第三病院）
研究と現場を結ぶ方法論 ～多施設共同研究，医工連携～
地域医療連携の“困った”を“研究”で解決 ～事例紹介とそこから見えた課題を考える～
講師：南里 博克先生（東京医科大学八王子医療センター）
医工連携の成功事例 ～医工連携でどのようなブレークスルーが生まれるか～
講師：根岸 徹先生（東京都立大学）
- 【セッション3】(16:00～16:55) 座長：谷畑 誠司先生（量子科学技術研究開発機構）
いま求められる技術者像とは ～若手・中堅に向けたメッセージ～
若手に伝えたい教訓 ～中堅技師が経験した成功と課題
講師：吉村 良先生（公立昭和病院）
キャリアの多様性と成長戦略 ～現場の技師に求められるスキルと心構え～
講師：木暮 陽介先生（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

記

日 時：2026年1月10日（土）15時00分～17時00分

受 講 料：東京都診療放射線技師会 正会員：500円

日本放射線技術学会 東京支部正会員：500円

非会員：1,000円 学生：無料

開 催 場 所：東京都立大学 荒川キャンパス ※Web配信はありません

〒116-8551 東京都荒川区東尾久7-2-10 Tel：03-3819-1211（代表）

定 員：150名（定員になり次第、終了とさせていただきます）

申 込 方 法：下記URLまたは右記QRコードより「第25回 合同学術講演会」フォームへ
アクセスいただき、事前登録をお願い致します。

申込URL：https://forms.gle/BS3VNPVRCwztvDSY7

登録された個人情報とは会場参加人数の把握管理以外に使用致しません

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



参加登録

第165回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ「学術委員が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術委員が選んだ発表演題」をWeb開催いたします。学会に参加できなかった方、参加したけれどもう一度聞きたい方、多くの方の参加をお待ちしております。

演者：

- ・脳出血患者のフォローアップ頭部CTにおける被ばく線量低減の検討
東邦大学医療センター大橋病院 岡部智大
- ・造影剤注入方法の違いによる下肢深部静脈のCT値の比較
順天堂大学医学部附属練馬病院 河合 萌
- ・散乱線補正機能を使用したベッドサイド胸部X線撮影のEffective DQEを用いた最適線量の決定法
東京医科大学八王子医療センター 菊池 悟
- ・STAT画像報告における頭蓋内高吸収域検出アラートシステムの有用性
東京都立病院機構東京都立荏原病院 大森貴文
- ・X線TV検査における術者水晶体被ばく線量低減の検討
公立福生病院 中村颯希
- ・画像等手術支援加算の改訂に伴う、最適な術前CT画像の検討
社会医療法人財団大和会東大和病院 大野隆介
- ・複数コイルを用いたDWIBSにおけるstation間での輝度差を最小化するための最適WW/WL設定の検討
東海大学医学部附属八王子病院 三澤裕太郎
- ・Bony Strokeの診断に頸部回旋4DCTAが有用だった一例
杏林大学医学部附属病院 渡部翔太
- ・ワンショット長尺撮影システムにおけるFPD重なり部分の画像ズレに関する検討
順天堂大学医学部附属順天堂医院 原島大佑

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

記

日 時：2026年1月23日（金）18時30分～20時30分

開催方式：Web開催

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年1月20日（火）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



2025年度実践集中講習会 －MRI装置/検査－（会場開催）

2025年度実践集中講習会－MRI装置/検査－を開催致します。

従来、MRI集中講習会として開催しておりましたが、本年度より開催名を一新して行います。

内容は従来を踏襲しており、基礎から臨床まで広範囲の講義を予定しております一方、磁気共鳴（MR）専門技術者取得を目標とした方向けに問題解説なども行います。

講義には、各講師の先生がまとめた専用のテキストに加え、東放技で出版したテキスト「MRI集中講習（改定版）2,000円」も使用します。（参加者には当日無料配布）

多くの方の参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

10:00～11:30	【基本測定】 スライス厚測定、T1,T2測定法、均一性 試験方法、SNR／CNRの測定方法	東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久
12:15～13:45	【各論】 原理（基礎）、パルスシーケンスおよび高 速撮像法（試験対策含む）	東京医科大学病院 林 直弥
13:55～15:25	【各論】 アーチファクト、脂肪抑制（試験対策含む）	昭和大学藤が丘病院 秋葉 泰紀
15:35～17:05	【各論】 MR安全管理、臨床（試験対策含む）	国立国際医療研究センター病院 石田 貴廣

記

日 時：2026年1月25日（日）9時55分～17時05分（受付開始9時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア ク セ ス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：40名（先着順）

受 講 料：会員 2,000円、非会員 10,000円

申 込 方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年1月24日（土）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

第166回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ「救急時のX線撮影－そうだったのか救急撮影－」

講師：武蔵村山病院 放射線科 森 剛 氏

今回は「救急時のX線撮影－そうだったのか救急撮影－」としてお送りいたします。救急撮影の初期におけるX線撮影は重要で、その役割は非常に大きいと思います。次の日から使える知識をお届けしたいと思います。

多くの方の参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年1月27日（火）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：会員 500円、非会員 3,000円、新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

会員、非会員用（有料）

申込URL

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P724765027



※セミナー参加費はカード決済後、欠席された場合でも払い戻しはいたしかねます。

何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

申込締切日：2026年1月20日（火）

問い合わせ：教育委員長 市川重司 E-Mail：kyoiku@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

第23回ウインターセミナー（会場開催）

テーマ「消化管画像検査のUpdate ～（腸）識を深める！～」

講師：メーカー情報提供：富士フイルムメディカル株式会社 廣谷 賢二 氏
 炎症性疾患：JCHO東京山手メディカルセンター 多々良 直矢 氏
 急性疾患：東京医科大学病院 岡本 淳一 氏
 悪性疾患：メディサイエンスプランニング 大塚 竜登 氏

「この検査、何のためにやってるんだろう？」「この画像、どこを見ればいいのか分からない…」「誰かに聞きたいけど、今さら聞きにくい…」そんな風に感じたことはありませんか？

今回のセミナーでは、消化管疾患の検査について、日常業務に即した形で「基礎から臨床応用」までを分かりやすく解説します。

対象は、医療現場に入って間もない若手の方や、異動してきたばかりで検査や画像にまだ慣れていない方。明日から使える視点や知識を一緒に整理していきます。

記

日 時：2026年1月31日（土）15時00分～16時30分（受付開始14時30分～）

場 所：JR東京総合病院 e棟4階会議室

〒151-8528 東京都渋谷区代々木2-1-3

ア ク セ ス：JR新宿駅南改札・甲州街道改札・新南改札より徒歩5分

小田急線 新宿駅南口改札より徒歩5分

京王新線 新宿駅・都営大江戸線新宿駅「A1」出口より徒歩1分

開 催 方 式：会場開催のみ

定 員：100名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

新卒かつ新入会員* 一般ならびに学生 無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年1月27日（火）

当日参加も募集いたします。

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail: gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ 1

2025年度 第4地区研修会（会場開催）

テーマ「エコーの世界へようこそ！ ～下肢静脈検査の第一歩～」

講 師：東京慈恵会医科大学附属病院 松田 敏治 氏

近年、超音波装置は目覚ましい進化を遂げており、画質や血流イメージの感度が大幅に向上し、描出能力が飛躍的に高まっています。さらに、タブレット型をはじめとする携帯性に優れた装置の登場により、在宅医療や災害医療など院外での活用も広がっています。

超音波検査は、病気の早期診断や予防医療への活用がされており、その有用性が広く認識されている一方で、診療放射線技師がその検査を担っている施設はまだ限られているのが現状です。

本講習会では、超音波装置に触れたことのない方にも分かりやすく、超音波検査の基礎について解説します。また、災害医療においても重要とされる下肢静脈血栓の検索について、実機を用いた下腿静脈の検査方法を実演形式でご紹介します。

未経験の方にこそ触れて欲しい検査ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

記

日 時：2025年12月16日（火）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：東京慈恵会医科大学附属病院 中央棟8階会議室

〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18

ア ク セ ス：都営三田線 御成門駅 A5出口より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：20名（先着順）

受 講 料：会 員：500円

非会員：1,000円

他職種：無料

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生：無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年12月13日（土）

問い合わせ：第4地区委員長 松田敏治 E-Mail：area04@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2025年度 第9地区研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師のキャリア&ライフ ～仕事とプライベート、多忙でもバランスよく両立するには～」

講 師：茨城県立医療大学 保健医療学部 放射線技術科学科 曾我部 和美 氏

現代では、医療現場でも働き方改革が進み、診療放射線技師も仕事と私生活のバランスを重視する傾向が強まっています。診療放射線技師は専門性が高く、キャリアの選択肢も多様です。忙しい業務に追われる中で、プライベートの充実が疎かになると、心身の不調や離職につながることもあります。この研修会を通じて、実際に両立を実現している技師の体験談や工夫を聞くことで、将来のキャリアパスやスキルアップの方法を共有し、自分の働き方を見直すきっかけになればと考えます。多くの方のご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年1月22日（木）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年1月15日（木）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



お知らせ 3

2025年度 第15地区研修会（会場開催）

テーマ「AI時代のシン常識 ～新たな価値の創出～」

講 師：帝京大学 医療技術学部 診療放射線学科 准教授 伊東 利宗 氏

近年、Chat GPTに代表される「AI」が急速に普及し、医療分野でも活用が広がりつつあります。

しかし、「AIがどのように動いているのか」「どのようなデータで作られているのか」など、基本的な仕組みは意外と知られていません。

本研修会では、AIや大規模言語モデル（LLM）の基礎を分かりやすく解説致します。更に、放射線業務の中でどのような場面に応できるのか紹介致します。

AIを初めて学ぶ方でも理解できる内容になっておりますので、是非気軽にご参加ください。

記

日 時：2026年1月23日（金）19時00分～20時40分（受付開18時30分～）

場 所：高津市民館 第5会議室

〒213-0001 神奈川県川崎市高津区溝口1-4-11

ア ク セ ス：JR南武線 武蔵溝ノ口駅より 徒歩1分、東急田園都市線 溝の口駅より徒歩1分

開 催 方 式：会場開催

定 員：50名（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生：無料

申 込 方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年1月22日（木）

問い合わせ：第15地区委員長 宮下麻依 E-Mail：areal5@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。



あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要” から“支部・地区一覧表”をお選びください。



公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報 お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

東京都功労者表彰



元（公社）東京都診療放射線技師会理事

もり しゅん
森 俊

【職 歴】

昭和46年1月～平成25年5月	慶応義塾大学病院 中央放射線技術室
昭和58年11月～平成25年5月	慶応義塾大学病院 中央放射線技術室 主任
平成25年6月 ～ 現在	在家庭

【団体歴】

平成3年4月～平成9年3月	（社）東京都放射線技師会 広報委員
平成9年4月～平成26年3月	（社）東京都放射線技師会 理事
	（現（公社）東京都診療放射線技師会）

【賞罰歴】

平成22年5月	東京都知事感謝状	
平成24年9月	（公社）日本診療放射線技師会	勤続30年表彰
平成27年6月	（公社）東京都診療放射線技師会	特別功労賞

東京都功労者表彰にあたり

森 俊

平成4年頃、東京都放射線技師会の顧問であった国定先生（元、東京都放射線技師会長）から「広報をやりなさい!」「一番大事な部署であるから・・・」その頃、大学病院で骨撮影に従事し、その研究を発表する事のみに力を注いでおりました私は、「広報部で何をやるの?」「都民のために?」当時、都民対象のイベントといえば唯一、（大田健康祭り）があり、放射線被ばくのパネルを飾りながら、被ばく説明をする。それと年一回の「都民講演会」でありました。その後、簡便な骨密度測定・乳房撮影相談等々、近年は、都内各区・市町村で幅広く広報活動がされておるそうです。

今回、令和七年度 東京都功労者表彰受賞という名誉に接し、広報部活動が都民のみなさん方に万分之一でも貢献出来得たことが受賞の一因であったのかなと嬉しく思います。

最後になりましたが、公益社団法人東京都診療放射線技師会の御推挙に感謝申し上げますと共に、江田会長、高野理事（渉外）をはじめ現役員の皆さま方、そして会員の皆さまに、満腔の感謝を申し上げる次第であります。

ありがとうございました。

寒くなってきました小樽にて

森俊先生の東京都功労者表彰受賞への祝辞

会長 江田哲男

この度、本会元理事の森俊先生が本会推薦により、令和7年10月1日に東京都功労者表彰を受賞されたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。また、今回の受賞におきましては、本会会員にとっても大変誇りに感じるところです。

森先生は平成3年に広報委員として6年間、委員としてご活躍され、平成9年4月から本会の理事に就任し、平成26年の3月末まで広報委員会・将来検討委員会や災害対策担当の理事として長きにわたりご尽力いただきました。その間に東京都知事感謝状を受賞、平成27年には本会の特別功労賞も受賞されております。

特に広報担当理事時代においては、都民講演会で放射線業務に限らず健康意識向上につながるテーマを企画され、都民に対し放射線業務等の関心を高める機会を提供していただきました。さらに地域の健康フェスティバルでは、業務紹介や被ばく相談、骨塩定量測定を通じて専門性を広め、地域医療理解に大きく寄与致しました。現在、本会が区民・市民祭りで広報活動を実施している活動の「礎」を築いていただきました。

この様に、この度の森先生のご受賞は、診療放射線技師としてのご活躍が都民に対し大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も森先生の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。



「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」

第二部 「アクションカードを作ろう」

2. 「アクションカードを利用した机上訓練」

○文中登場者（A～Dは全て異なる施設に勤務）



A 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者、進行役



B 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者



C 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者



D 放射線部門災害対策マニュアルの作成については未経験者



A：前回、アクションカードの作り方について話してきました。次に考えることは、「アクションカードが実際の動きと矛盾していないか？」の確認ですね。そこで今回は、机上訓練を行い、アクションカードの妥当性を評価するということについて考えていきたいと思います。よく行われる訓練には、机上訓練と実動訓練がありますが、実動訓練は机上訓練に比べて準備が大変ですし、どうしても「イベント感」が出てしまい、雰囲気を押されて冷静な評価ができないこともあります。私自身、そういった経験があるため、まずは「机上訓練」をお勧めしたいのですが、皆さんはいかがでしょうか？



C：私もそう思います。アクションカードの出来具合の評価の他に、まだ職員が災害時対応をよく理解していない段階の場合、災害対応の流れを理解してもらうという

目的にも適していると思います。



D：確かに実動訓練は、「真剣な訓練」と「イベント」という捉え方で人によって温度差があるかもしれません。



B：マニュアルやアクションカードを見るだけでは、まだ他人事とを感じる人たちもいると思います。その人たちも机上訓練を行うことによってアクションカードの不合理的なところを指摘したり、修正案を提案したりといった訓練後の評価まで介入してもらえば、少しずつ自分事に変化していく気がします。



D：そういった過程を経てから実動訓練を行った方が意識は高くなりそうですね。よい訓練ができそうです。



A：肯定的な意見をいただけたということで、机上訓練の準備を具体的に考えていきましょう。机上訓練の全体像をイメージできない読者もいると思うので、簡単に説明してください。



C：まず指定されたシナリオが発表されて訓練がスタートします。

例えば、「平日の午前10時、震度6強の直下型地震が発生。電気・水道は使用不可、電話不通、エレベーター停止、外来中の患者多数、病棟の一部に損傷」といった感じです。

次に災害の「発生直後」「10分後」「30分後」「1時間後」など、ファシリテーターが段階的に状況を進行させ、その都度、配置や担当を割り振られた参加者に「自分なら何をする

か」「どのように行動するか」をアクションカードに基づいて発表してもらいます。

ファシリテーターの人は、発表内容が他の役割や他部署の行動と照らし合わせて矛盾や漏れがないかを確認しながら進めていきます。

訓練終了後、ファシリテーターが進行を振り返り、行動の妥当性、連携のスムーズさ、想定外の課題について総括します。最後に参加者の意見を集約して、アクションカードの見直しや災害対策マニュアルの更新を行うという感じです。



B：ファシリテーターが重要人物ですね。



D：ファシリテーターはどのような方がやりますか。



B：災害時対応の知識・技術に長けている人ということで、災害対策の担当者がやることになるでしょうね。



A：説明ありがとうございます。次に物の準備ですが、何が必要でしょうか。



B：机上訓練なので、参加者が座れる分だけ机・椅子を並べます。机は参加者で囲えるような大きい机を用意すると訓練が進めやすいかもしれません。物品は、アクションカード、被災報告書などの災害時に使用する書類関係、訓練の舞台となるエリアの平面図、平面図上で動かす人の駒、あとはその時の訓練内容に合わせて必要な物（ストレッチャー、車椅子、酸素ボンベ、生体モニターなど）といったところではないでしょうか。



A：必要な人員についてはいかがでしょうか？



B：全体の司会進行役、各班にファシリテーター、訓練参加者、できれば記録係

もほしいです。記録係がいると、振り返り時の記録に加えて、第三者としてファシリテーターのサポートもできるので、より円滑に訓練を進めることができます。



A：物と人の準備は分かりました。他に準備段階で行うことはありますか？



C：参加者には、事前に災害対策マニュアルとアクションカードをよく読んでおくようにしてもらいます。ファシリテーターや主催者側はシナリオの作成、使用物品の準備、訓練中にチェックするポイント（伝達や行動の漏れや重複など）も確認しておくようにします。



A：では、実際に机上訓練を行うとしたら、どのような流れになるのでしょうか。



B：まず、訓練のオリエンテーションをします。訓練の説明、目的の確認などを司会進行役が解説します。



D：確かに、机上訓練が初めての方たちばかりだと何を目標にしているか分からないですもんね。



B：オリエンテーションの後、机上訓練に入っていきます。



C：ここで、準備した物品が机の上に広げられます。



B：先ほど、話にあがったシナリオ（訓練の状況付与）が発表されて訓練開始です。

司会進行役が課題や検討時間の提示をし、ファシリテーターが各班で参加者の発言を促し、議論が活性化するように手助けをします。また、必要時には意思決定のサポートを行っていきます。



D：アクションカードを見ながら、エリアの平面図上で駒や物を動かして、行っていくということですね。



B：そうです。そのように行うことによって、災害時における行動の理解が深まり、問題点が見えてきます。



A：訓練の評価ポイントについてはどうでしょうか。



C：今回はアクションカードを用いた訓練なので、アクションカードに問題点がないかということが最大のポイントになると思います。なので、アクションカードを中心

に良かった点や改善点を振り返るための評価項目を設定するのがよいと思います。ただ、細かな評価項目を作ってしまうとクローズな質問ばかりになってしまい、回答に誘導性がでてしまう可能性があると思います。ある程度回答に幅ができるようにするとよいです。



D：しっかり振り返りまで行うことが大切なんですね。実際に、机上訓練を行ってみたいと思いました。



A：今回、アクションカードを利用した机上訓練について、ポイントを挙げていただきました。実動訓練を行っていく足掛かりとなれば幸いです。

今回のまとめ

「アクションカードを利用した机上訓練」

1. 机上訓練を行うことで、アクションカードの仮運用が可能。
2. 実際の被災報告書や平面図・駒を用いて、臨場感を持たせる。
3. 各役割で、時系列に沿って取るべき行動の検証が実施可能。
4. 机上訓練を評価して、アクションカードをより良いものに繋げる。

2025年度 第5地区研修会報告

東京科学大学病院 成田拓海

テーマ：「整形外科領域における荷重位のX線撮影について～立位撮影の重要性を考えさせる脊椎編～」

講師：滋慶医療科学大学大学院 医療安全学研究科 安藤英次 氏

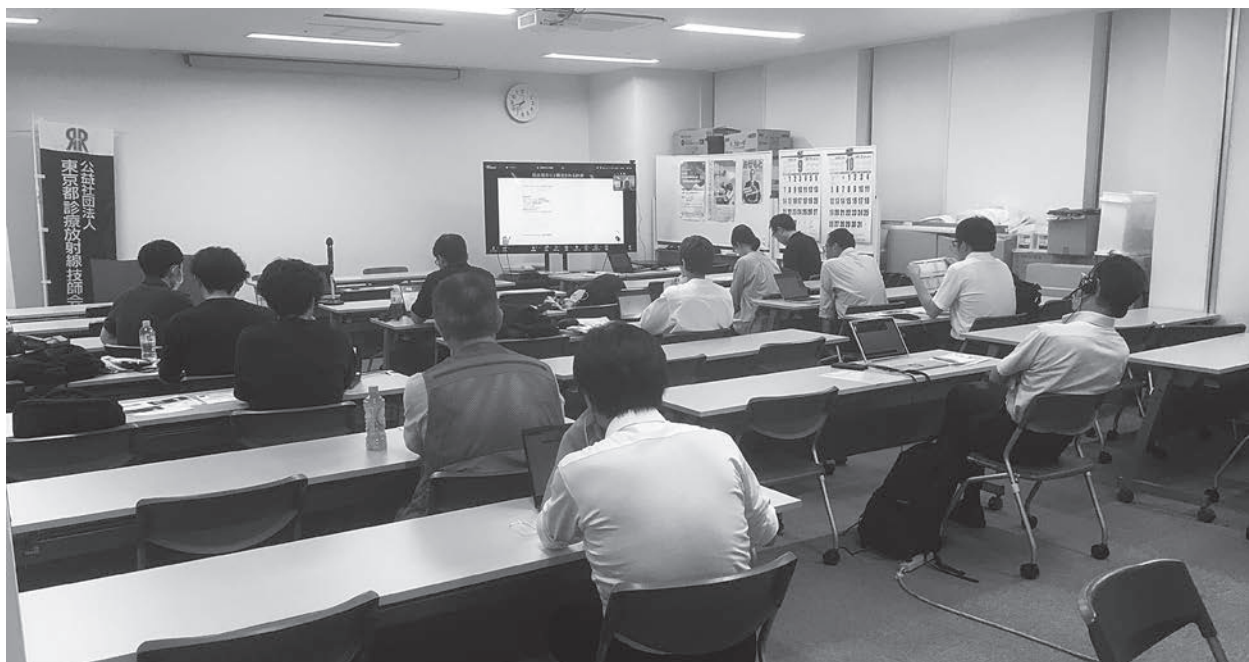
はじめに、本研修会を通じて、従来は臥位撮影が中心であった腰椎X線撮影において、荷重位（立位・座位）撮影の重要性や具体的な意義を学ぶことができた。

腰椎の病態評価においては、撮影時の体位が画像に及ぼす影響は大きく、臥位と荷重位で得られる情報には明確な差がある。特に荷重下での撮影では椎間腔の狭小化や椎体変形がより顕著に描出され、側弯や圧迫骨折、脚長差による骨盤の傾きなども荷重位撮影によって詳細に把握できることが示された。さらに、荷重下での脊椎や骨盤の病態把握は治療方針や手術計画に直結し、インプラントの選択や固定

範囲の決定、さらには術後予後の予測にも有用であることから、荷重位撮影が重要な役割を果たすことを学んだ。

安全かつ再現性のある画像を提供するためには、撮影マニュアルの整備や現場での課題解決が欠かせないことも示された。また、患者ごとに体型や体力、疼痛の有無が異なるため、柔軟な撮影技術の選択が求められる点も印象的であった。さらに、腰椎正面撮影の体位や撮影方向について医師と協議し、より診療に資する画像提供を可能とした事例の紹介もあり、医師との連携が診療の質向上につながると再確認した。

今回の研修会を通じ、患者の状態や病態を十分に踏まえ、臨床的価値の高い画像を提供することが診療放射線技師の本質的な役割であると実感した。このような意識的な取り組みが診療放射線技師の臨床的価値を高めると信じ、日々の撮影業務に臨んでいきたい。



日本診療放射線技師連盟 2025 No. 8 ニュース (通巻No.112)

連盟活動報告

発行日 令和7年10月31日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒381-0812
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 8月19日(火) JFRT主催 第17回定例勉強会開催
- ② 8月27日(水) 第47回 岸田文雄と国政を語る会に出席
- ③ 9月12日(金)～9月14日(日)

第41回日本診療放射線技師学術大会にて連盟ブース設置

- ① 9月30日(火) 第19回社会保障勉強会に出席
- ② 9月30日(火) JFRT主催 第18回定例勉強会開催
- ③ 10月29日(水) JFRT主催 第19回定例勉強会開催

**日本診療放射線技師連盟主催
第17回 定例勉強会**

プログラム

【特別講演】19:00～19:30
小児CTとDRIs2025
～未来への責任と挑戦～
東京慈恵会医科大学放射線科センター
放射線科 庄司友和 先生

【連盟報告】19:30～20:00
聴けばナットク！政治の話
～政治が10倍おもしろくなる～
日本診療放射線技師連盟 副理事長
中上康次

連盟活動報告
日本診療放射線技師連盟 理事長
木暮陽介

参加登録は下記URLか二次元コードから！
登録された方に参加URLをお送りします
<https://forms.gle/GsfvGG8RwagGVJg7>

参加無料です。お気軽にご参加ください！

令和7年
8月19日 火曜日
19:00～
zoomによるオンライン開催です。

日本診療放射線技師連盟は国民の医療福祉の向上発展を目的とし、診療放射線技師の
職業環境向上と活動促進を目指し、教育活動・社会活動を行う有志の団体です。

**日本診療放射線技師連盟主催
第18回 定例勉強会**

プログラム

【特別講演】19:00～19:30
MRI検査の撮像技術の
標準化に向けた取り組み
新潟大学医学部総合病院 金沢 勉 先生

【連盟報告】19:30～20:00
聴けばナットク！政治の話
～政治が10倍おもしろくなる～
日本診療放射線技師連盟 副理事長
中上康次

連盟活動報告
日本診療放射線技師連盟 理事長
木暮陽介

参加登録は下記URLか二次元コードから！
登録された方に参加URLをお送りします
<https://forms.gle/CIEIsfac9Kw3t767>

参加無料です。お気軽にご参加ください！

令和7年
9月30日 火曜日
19:00～
zoomによるオンライン開催です。

日本診療放射線技師連盟は国民の医療福祉の向上発展を目的とし、診療放射線技師の
職業環境向上と活動促進を目指し、教育活動・社会活動を行う有志の団体です。

**第19回
日本診療放射線技師連盟
定例勉強会**

プログラム

【特別講演】19:00～19:30
変わりゆくX線撮影を伝える
追摩医科大学大学院 客員教授
安藤英次 先生

【連盟報告】19:30～20:00
聴けばナットク！政治の話
～政治が10倍おもしろくなる～
日本診療放射線技師連盟 副理事長
中上康次

連盟活動報告
日本診療放射線技師連盟 理事長
木暮陽介

参加登録は下記URLか二次元コードから
登録された方に参加URLをお送りします
<https://forms.gle/muJZA89lmv1hTaaH6>

令和7年
10月29日(水)
zoomによるオンライン開催
19:00～20:00

日本診療放射線技師連盟は国民の医療福祉の向上発展を目的とし、診療放射線技師の
職業環境向上と活動促進を目指し、教育活動・社会活動を行う有志の団体です。

当連盟入会ならびに年会費支払い

2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円 となりました。
また、寄付によるご支援も随時受け付けております。

入会されますと、過去の定例勉強会のオンデマンド配信を視聴する
ことができます。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

JFRT 日本診療放射線技師連盟



第25回

合同学術講演会

(公社) 日本放射線技術学会 東京支部・(公社) 東京都診療放射線技師会

Road to “Radiology × All Tokyo!”

開催日

2026年

1/10 (土)

15:00～17:00

参加費

正会員 ¥500

非会員 ¥1,000

学生 無料

会場

東京都立大学
荒川キャンパス



セッション1：15:05～15:30

座長：佐藤 英介先生（順天堂大学）

「Radiology × All Tokyo!」に演題を出すために

研究は日々の疑問から ～プロセスと学術支援の活用法～

野坂 広樹先生（茨城県立医療大学）

セッション2：15:30～16:10

座長：樋口 壮典先生（東京慈恵会医科大学附属第三病院）

研究と現場を結ぶ方法論 ～多施設共同研究，医工連携～

地域医療連携の“困った”を“研究”で解決

～事例紹介とそこから見えた課題を考える～

南里 博克先生（東京医科大学八王子医療センター）

医工連携の成功事例

～医工連携でどのようなブレークスルーが生まれるか～

根岸 徹先生（東京都立大学）

セッション3：16:10～16:55

座長：谷畑 誠司先生（量子科学技術研究開発機構）

いま求められる技術者像とは ～若手・中堅に向けたメッセージ～

若手に伝えたい教訓 ～中堅技師が経験した成功と課題～

吉村 良先生（公立昭和病院）

キャリアの多様性と成長戦略

～現場の技師に求められるスキルと心構え～

木暮 陽介先生（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

参加登録期間：2025年11月1日(土) ～ 2026年1月10日(土)

Web配信の予定はありません。会場収容人数に達した段階で登録を締め切る場合がございます。
登録された個人情報は、参加人数の把握および認定ポイント付与に関する管理にのみ使用します。



お問い合わせ

公益社団法人 日本放射線技術学会 東京支部連絡事務所
TEL 03-5804-2301 Mail: tokyobukai-adm@umin.ac.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所
TEL 03-3806-7724 Mail: gakujiu@tart.jp

令和7年度原子力災害対策事業費補助金 (原子力災害医療実効性確保事業)

臨時甲状腺簡易測定研修(QST) 募集について

原子力規制委員会から全国規模の原子力災害医療協力機関として指定されている日本診療放射線技師会(JART)が、東京都在勤・在住の会員を対象に、原子力災害に関する基礎知識や測定器の扱いを学ぶ基礎研修を実施することとなりました。

本研修は原子力災害医療研修体系の基礎に位置づけられ、放射性ヨウ素放出時に住民等への甲状腺簡易測定を迅速に行うための担当者育成を目的とした研修となります。原発災害が発災したときのために診療放射線技師として知識を習得していただければと存じます。

プログラムは下記の「被ばく医療研修ポータルサイト」より申込みいただき、基礎研修eラーニングシステム、終了後に専門研修eラーニングシステム、そして実技研修となります。

※ 応用研修(実技研修)は基礎研修を受講済でないと受講できません。まずは基礎研修をご受講ください。

記

1. 対象者：東京都に在勤または在住のJART会員
2. 申込み

◆ 基礎講習eラーニング/専門講習eラーニング

- 申込期間：令和7年11月10日から12月4日
- 「被ばく医療研修ポータルサイト」より申込んでください

URL：<https://retms.nirs.qst.go.jp/>

基礎講習 → 「東京JART会員限定」が記載されている研修名を選択

専門講習 → 「令和7年度第5回(臨時@東京)」が記載されている研修名を選択



【申込の際の注意事項】

- ※ 申込時に登録いただいたメールアドレスがeラーニングシステムのIDとなるため、共用メールアドレスではなく個人メールアドレスを登録してください。
- ※ 「所属機関名(受講者)」欄では、「公益社団法人日本診療放射線技師会」を必ず選択してください。
- ※ 「所属部署名(受講者)」欄に、東京都在勤として受講する場合は本務勤務先名を、東京都在住として受講する場合はお住いの市区町村名を必ずご記入ください。
- ※ 「所属部署名(所属長)」欄は、「その他」を選択したうえで、本務勤務先名をご記入ください。
- ※ 「現在の職務内容および受講理由」欄の冒頭に「JART会員番号」を必ずご記入ください(会員番号は半角数字で入力)。JART会員番号、氏名などの受講情報がJARTに共有されます。

■ 基礎講習e-ラーニング受講期間

令和7年12月15日（月）～令和8年1月7日（水）

※ この期間内に必ず受講を完了させてください。 受講終了後

1. 開催形式

e-ラーニング オンデマンド形式 所要時間4時間程度

2. 研修内容

テキストは、以下のURLからダウンロードできます。

<https://www.qst.go.jp/site/nirs/nuclear-emergency-medicine-text.html>

3. 受講料：無料

4. 受講決定通知

受講開始日までに所属長及び本人宛に結果をメールで通知します。

5. 修了証書

基準を満たした受講生には被ばく医療研修認定委員会より修了証書を発行します。



■ 専門講習e-ラーニング受講期間

令和8年1月16日（金）～令和8年2月4日（水）

※ 基礎研修e-ラーニングとは別ですので、必ず受講してください。

1. 実技 会場：東京都港区芝5丁目26番30号 専売ビル3F会議室

令和8年2月7日（土）

午前の部 11：00～12：50（受付10：30～11：00）

午後の部 14：00～15：50（受付13：30～14：00）

令和8年2月8日（日）

午前の部 11：00～12：50（受付10：30～11：00）

午後の部 14：00～15：50（受付13：30～14：00）

※ 各部とも研修内容は同じです。いずれか一つを選んで申し込んでください

2. 受講料：無料

3. 受講決定者にはQSTからメールで通知します。

問い合わせ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

QST 放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課

電話（直通）：043-206-4176 E-mail：hibaku-training@qst.go.jp

以上

会員動向

2025年4月～10月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2024年度末集計	2,702	279	41	28	151
2025年 4月	2,742	40	6	5	1
2025年 5月	2,762	31	2	6	7
2025年 6月	2,788	26	2	1	1
2025年 7月	2,821	36	1	0	4
2025年 8月	2,836	17	2	2	2
2025年 9月	2,829	12	4	1	22
2025年10月	2,841	20	3	0	11

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2025年度

1. 学術研修会
 - ☆第23回ウィンターセミナー 2026年1月31日(土)
2. 生涯教育
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
 - 第165回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2026年1月23日(金)
 - 第166回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2026年1月27日(火)
4. 専門部委員会研修会
 - 第20回ペイシェントケア学術大会 2026年2月28日(土)
 - 災害対策委員会研修会 未定
5. 集中講習会
 - 2025年度実践集中講習会－MRI装置/検査－ 2026年1月25日(日)
- ☆6. 支部研修会
 - 城南支部研修会 2026年3月19日(木)
 - 城西・多摩支部研修会 未定
- ☆7. 地区研修会
 - 2025年度第9地区研修会 Web開催 2026年1月22日(木)
 - 2025年度第15地区研修会 2026年1月23日(金)
 - 2025年度第6地区研修会 ハイブリッド開催 2026年3月6日(金)
- ☆8. 第25回東放技・東京支部合同学術講演会 2026年1月10日(土)
9. 地球環境保全活動
10. 東放技参加 行政祭り等 未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

News

12月号

日 時：2025年10月2日（木）
午後7時00分～8時40分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、
鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、
高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、
渡辺靖志、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、
布川嘉信、大津元春

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第
4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、
伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第
7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、
澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第
11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、
長谷川浩章（第14地区委員長）、宮下麻依
（第15地区委員長）、岩井譜憲（編集委員長）、
桐 洋介（国際委員長）、中尾 愛（入会促
進委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳
（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：今尾 仁

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：野口幸作（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

本日もお忙しい中お集まりいただき、誠にありがとう
ございます。10月に入り事業も動き出しますが、本日
も議事が多いので皆さまには活発なご意見をお願いした
い。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし。

議事

1) 事業申請

①荒川河川敷清掃活動

テーマ：地球環境保全活動 荒川河川敷清掃活動 荒川ク
リーンエイド2025

日 時：2025年10月25日（土）10：00～12：00

場 所：北区 荒川岩淵関緑地

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

②ピンクリボンキャンペーン

テーマ：区民への放射線医療や放射線に関する正しい知

識の普及・啓発活動。

パネル展示・乳腺ファントム体験の指導・放射線検査説明・医療被ばく相談。

日 時：2025年11月30日(日)10:00～15:30

場 所：東村山市役所いきいきプラザ2階

鮎川幸司 第13地区委員長：

今まで行っていた健康のつどいとは違う形式になるのか。

江積孝之 広報委員長：

これまで2日間開催されていた健康のつどいは終了し、ピンクリボンキャンペーンと名称を変更し今年から1日のみ開催される。

野口幸作 副会長：

これまで放射線相談も内容に含まれていたが、今回は乳腺のみになるのか。

江積孝之 広報委員長：

内容は乳腺のみとなる予定である。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

③第25回合同学術講演会

テーマ：Road to “Radiology × All Tokyo!”

日 時：2026年1月10日(土)15:00～17:30

場 所：東京都立大学 荒川キャンパス

市川篤志 委員長：

募集に関して、会誌よりホームページを先行して公開は可能か。

竹安直行 情報委員長：

ホームページを先行して公開は可能である。ポスターの掲載も可能である。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

④2025年度第9地区研修会(Web)

テーマ：診療放射線技師のキャリア&ライフ

ー仕事とプライベート、多忙でもバランスよく両立するにはー

日 時：2026年1月22日(木)19:00～20:00

場 所：Web(東放技Zoom使用)

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

⑤第23回ウインターセミナー

テーマ：消化管画像検査のUpdateー(腸)識を深める!ー

日 時：2026年1月31日(土)15:00～17:30

場 所：JR東京総合病院 e棟4階会議室

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

江田哲男 会長：

テーマの名称について委員会で一度審議していた

だき、会誌にはマルチモダリティである旨を掲載するのがよいと考える。

⑥第20回ペイシェントケア学術大会

テーマ：「つながり、支え合う医療を目指して」

日 時：2026年2月28日(土)10:00～16:30

場 所：一橋大学 一橋講堂 中会議室1室から4室

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

2)通信雑費の見直し

石田雅彦 経理委員長：

2024年度決算書に基づき、前年度と比較して費用が増加している項目について説明された。会議費：約108万円増加、旅費交通費：約189万円増加、印刷製本費：約112万円増加(主に会誌の発行増による)、通信運搬費：約40万円増加(主に会誌の郵送費による)。会議費と旅費交通費の増加額(合計297万円)のうち、約56%にあたる約165万円が通信雑費の増加分であることが報告された。

江田哲男 会長、野口幸作 副会長：

昨年度と比較して支出の増加が特に大きい項目として「会議費」「旅費交通費」「通信運搬費」「印刷製本費」が挙げられる。「印刷製本費」は年間契約のため、年度途中の削減は困難である。「通信運搬費」も郵送などで使用されるため、大幅な削減は難しい。以上の理由から、今回は「通信雑費」の見直しに焦点を当てて検討している。

2025年度上半期の通信雑費は、2024年度上半期と比較して約5万円の差があり、昨年度と同様の支出傾向を示している。本年度の事業内容も昨年度とほぼ同様であるため、対策を講じなければ年間を通じて同程度の支出が予測される。委員会の参加人数も令和六年度に顕著な動きがあり、本年度も同様の数値が推測されることから、支出増の傾向が続くと考えられる。

現預金の推移について、令和2年には3,154万円に達したが、東京都庁からの指導により、研修センター拡張積立金として2,000万円を別口座に移している。事業に利用可能な現金は令和3年から1,300万円台で推移していたが、令和6年には約800万円まで減少した。減少の主な要因は、コロナ禍明けの活動活発化、新委員会の設立、会議数の増加による支出増である。一方で、活動の活発化は事業展開や入会促進に繋がっており、肯定的な側面もあると認識している。現状、下半期に大きな収入増を見込むことは厳しい状況である。

短期的な支出削減策として、通信雑費を現行の1,000円から400円に引き下げたい。この400円への変更は恒久的なものではなく、あくまで一時的な措置である。今後、委員会の会議のあり方を抜本的に見直す時期に来ていると考え、具体的には、委員会の定数制の導入や、会議の開催回数、対面・ウェブ会議のルール化などを検討し、支出をコントロール可能な状態にすることを目指す。

昨年度に約500万円の赤字が発生し、現預金が1,363万円から818万円に減少した。本年度も同様の事業活動を続けた場合、年度末には現預金が約300万円まで減少する見込み。通信雑費を引き下げる変更は、決定次第、本年度から適用することを想定している。400円への引き下げにより、約150万円の支出削減が見込まれるが、それでも赤字は残る計算になる。また今後の会議のあり方やルール化と合わせて、改めて議論していく方針である。

・平成30年から令和2年にかけて剰余金が大幅に増加した理由について

主な要因として、関東甲信越学術大会での黒字計上や、コロナ禍による事業中止での支出減が挙げられる。

・剰余金の取り扱いに関して

「都庁から剰余金が多すぎると指導された」との説明がありましたが、正確には、公益法人の収支相償の原則に基づき、用途が決まっていなかった資金を「研修センターの拡張」という公益目的のために積み立てたのが正しい経緯である。

・会議の半分をメールでの報告形式とし、半分を地区研修会などの話し合いに充てる

Web会議の導入で集合しやすくなったため月1回開催しているが、経費削減のために一部をメール会議に切り替える意見が出された。運営方法の変更は、事業計画に支障のない範囲で改善できるのであれば柔軟な対応でお願いしたい。

・研修会の有料化を検討すべきとの提案

執行部で質の高い研修コンテンツを作成し、それを各地区で活用することで収益化を図る案が出された。有料化によって参加者が減少することへの懸念も示された。広告収入の拡大策として、会誌やホームページへの広告掲載を進めている。全員から広く意見を募るため、メールでのアイデア提出をお願いする。

・新たに設置された特別委員会が機能しているか

国際委員会：年2回のイベント準備・発表や活動報告会を開催している。入会促進委員会：広報動画やパンフレットの作成、養成校への配布などを精力的に行い、会員数の大幅な増加に貢献している。放射線相談委員会：一般からの問い合わせ対応や、福島原発の現状視察報告などを実施している。

・国際委員会の支出が高いのではないのか

昨年度の支出が約112万円、2023年度が約136万円、本年度は現在のところ約70万円となっており予算内で運営されている。金額は大きいものの、昨年度と比較して大幅に増えているわけではない。

・研修センター拡張のための積立金を今後も継続するか

2,300万円の積立金があるが、これを取り崩すことや、厳しい財政状況下で積立を継続することについては慎重な検討が必要である。公認会計士からは、積立金の取り崩しはハードルが高く、公益法人としての信頼性を損なうリスクがあると助言があった。執行部としては、積立金の取り崩しは最終手段と考えており、現時点では手をつけたくない。

江田哲男 会長：

通信雑費の見直しは重要な議題であるため、本日の会議では採決を行わず、各地区に持ち帰って検討することになった。各地区は会員に状況を説明し、意見を集約した上で、新たな改善提案があれば提出をお願いする。会議で使用した資料は後ほど全員に配信する。通信雑費の引き下げは地区活動のモチベーション低下につながる恐れがあるため、次年度に向けては会議の開催頻度や形式など、会議のあり方そのものを見直す必要がある。

3) 委員新任変更申請

鈴木雄一 総務委員長：

2025年9月30日付で、日本診療放射線技師会および東京都診療放射線技師会に入会している会員数から地区会員数を設定した。ご承認をお願いしたい。

木暮陽介 庶務委員長：

承認され次第、庶務委員会から新任変更された委員に委嘱状を発行する。

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

9月：新入会12名、転入4名、転出1名、退会22名

【承認：18名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

通信雑費関連以外の質問

第6地区：

ワクチン接種の研修会について情報をお持ちであれば教えていただきたい。例えば研修を受けなければワクチン接種できないのか、今後も継続して行う事業なのかなど情報があれば教えてほしい。

江田哲男 会長：

JART(日本診療放射線技師会)主導で、パンデミック発生時に診療放射線技師がワクチン接種を担えるようにするための実技講習が開始される。東京都としても立候補しており、JARTから研修機材の譲渡と運用費10万円の送金を受ける予定。研修は、JARTのeラーニングを受講後、各地で開催される実技講習に参加することで完了となる。東京都では、学術大会などでブースを設けて開催することを検討している。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

JARTの勤続30年、50年の表彰功労賞の回答の受領が完了した。今後は資料をまとめ作業に入る。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

市川重司 教育委員長：

11月20日に第164回ワンコインセミナーを開催する。ジャパンDRLをテーマに行う。イベントペイを利用した有料開催で、参加費は会員500円、非会員3,000円、新入会員は無料、決済方法はカード決済のみとなる。まずは理事や地区委員長が申し込み・参加し、イベントペイの使い勝手についての意見をいただきたい。このセミナーを収入増加の突破口にしたいという狙いがある。申し込みは10月1日から開始されているので広報とご参加をお願いしたい。

木暮陽介 庶務委員長：

来年1月9日に「新春のつどい」がアートホテル日暮里ラングウッドで開催される。現在、バナー広告や案内をする企業のリストを構成中。例年より早期に、より多くの企業へ案内することで収入アップを目指しているのでご協力をお願いしたい。

桐 洋介 国際委員長：

2026年3月開催予定のSRTA学術大会について、演題の締め切りが今月10月15日に迫っている。多くの方に発表していただきたいので、お近くの方で興味がある方がいましたら国際委員会の方にご連絡お願いしたい。

江田哲男 会長：

本年度から施行された新公益法人法により、外部理事の選任が義務付けられた。今回は、収支が3,000万以上であるため、外部の理事を置く必要がある。来年度の役員改選で外部理事の選任が必須となるため、本年度中に臨時総会で定款を改正する方向で動いている。来週、同様に外部理事が必要な東京都臨床検査技師会と、相互協力について話し合う会合が開催される。次回の理事会で報告する。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

今月のイベントとしては、15日に運営幹事会、17日に第14地区研修会、24日に城北支部研修会、28日に中間監査、29日に新春座談会、30日に専門部委員会となっている。

上半期の事業がすべて9月30日をもって終了したので、中間監査の28日に向けて資料を総務委員会で作成するので、エクセルファイルをグーグルドライブにアップロードしていただくか、総務委員会宛にメールで添付をよろしくをお願いしたい。

以上

2025年 東京放射線 総目次

Vol.72 No.834~844

1月号 Vol.72 No.834

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感「継往開来」	会長 江田哲男 4
会告1 2025年「新春のつどい」のご案内	5
会告2 2024年度城東支部研修会	城東支部委員会 6
会告3 第155回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 7
会告4 第19回バイシエントケア学術大会	学術委員会 8
会告5 2024年度城南支部研修会	城南支部委員会 10
会告6 2024年度第1回災害対策研修会	災害対策委員会 11
会告7 第156回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 12
会告8 第157回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 13
会告9 第22回ウインターセミナー	学術委員会 14
会告10 2024年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 15
会告11 第13回MRI集中講習会	教育委員会 16
会告12 2024年度城西支部研修会	城西支部委員会 17
会告13 第158回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 18
会告14 第78回定期総会での表彰(勤続20年)について	渉外委員会 19
お知らせ1 2024年度第13地区研修会	第13地区委員会 20
お知らせ2 2024年度第6地区研修会	第6地区委員会 21
お知らせ3 2024年度第4地区研修会	第4地区委員会 22
お知らせ4 2024年度第12地区研修会	第12地区委員会 23
お知らせ5 2024年度第16地区研修会	第16地区委員会 24
お知らせ6 2024年度第9地区研修会	第9地区委員会 25
お知らせ7 2024年度第2地区研修会	第2地区委員会 26
お知らせ8 2024年度第15地区研修会	第15地区委員会 27
お知らせ9 2024年度第8地区研修会	第8地区委員会 28
お知らせ10 2024年度第11地区研修会	第11地区委員会 29
お知らせ11 会費納入のお願い	30
表彰 東京都功労者表彰	32
叙勲 瑞宝双光章	34
新春企画 2025年新春座談会	36
パイプライン	
・超音波画像研究会 第266回エコーセミナー	48
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2024 No.11)	49
2024年4月~11月期会員動向	50
2024年度第8回理事会報告	51
研修会等申込書	58
登録事項変更届	59
Column & Information	
・東放技入会無料のお知らせ	31
・求人情報	50
・学術講演会・研修会等の開催予定	57
2月号 Vol.72 No.835	
診療放射線技師業務標準化宣言	2

巻頭言 学術教育事業への参加のススメ 塞翁が日暮里?…業務執行理事 市川重司	3
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第77回臨時総会	4
会告2 2024年度第1回災害対策研修会	災害対策委員会 5
会告3 第156回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 6
会告4 第157回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 7
会告5 第22回ウインターセミナー	学術委員会 8
会告6 2024年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 9
会告7 第13回MRI集中講習会	教育委員会 10
会告8 2024年度城西支部研修会	城西支部委員会 11
会告9 第158回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 12
会告10 2024年度厚生調査委員会アンケート調査事業	厚生調査委員会 13
お知らせ1 2024年度第12地区研修会	第12地区委員会 14
お知らせ2 2024年度第16地区研修会	第16地区委員会 15
お知らせ3 2024年度第9地区研修会	第9地区委員会 16
お知らせ4 2024年度第2地区研修会	第2地区委員会 17
お知らせ5 2024年度第15地区研修会	第15地区委員会 18
お知らせ6 2024年度第8地区研修会	第8地区委員会 19
お知らせ7 2024年度第11地区研修会	第11地区委員会 20
お知らせ8 会費納入のお願い	21
総会資料 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第77回臨時総会資料	23
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第24回 表面型大腸腫瘍②~側方発育型大腸腫瘍	
(laterally spreading tumor:LST)について~	安藤健一 27
連載 [核医学治療 Update] 第7回 ~ライアットなど今後の展開~	宮司典明 34
こ え	
・第47回練馬まつり2024感想記	佐藤瑞記 42
・中央区健康福祉まつり2024に広報委員長として参加した感想記	江積孝之 43
・OTAふれあいフェスタ2024感想記	石埜靖一郎 44
・OTAふれあいフェスタ2024に参加して	秦 広弥 45
・第40回東村山市民健康のつどいに参加して	岩崎智史 46
・第154回日暮里塾ワンコインセミナーに参加して	窪沢匠磨 47
・第5地区研修会に参加して	菅谷正範 48
パイプライン	
・2025年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集	49
・日本診療放射線技師連盟ニュース(2024 No.12)	50
2024年4月~12月期会員動向	51
2024年度第9回理事会報告	52
Column & Information	
・東放技入会無料のお知らせ	22
・学術講演会・研修会等の開催予定	55
3月号 Vol.72 No.836	
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 変化の時期	副会長 関 真一 3
会告1 2024年度城西支部研修会	城西支部委員会 4
会告2 第158回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 5
お知らせ1 2024年度第15地区研修会	第15地区委員会 6
お知らせ2 2024年度第11地区研修会	第11地区委員会 7
お知らせ3 会費納入のお願い	8

報 告	2024年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会	
	アンケート調査①『医療被ばく関係法規実態調査』… 厚生調査委員会	10
報 告	使用済み切手の寄付報告 …… 厚生調査委員会	24
こ え		
	・2024年度城北支部研修会に参加して …… 山口麻美	25
	・2024年度城北支部研修会「診療放射線技師の災害医療支援活動」に参加して	
	…………… 岡部博之	26
	・2024年度城北支部研修会を開催して …… 関谷 薫	27
	・新春のつどいに参加して …… 川上 智	28
パイプライン		
	・超音波画像研修会 第267回エコセミナー …… 30	
	2024年4月～2025年1月期会員動向 …… 31	
	2024年度第10回理事会報告 …… 32	
	———— Column & Information ————	
	・東放技入会無料のお知らせ …… 9	
	・求人情報 …… 31	
	・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 35	

4月号 Vol.72 No.837

診療放射線技師業務標準化宣言 ……	2
巻頭言 春に想うこと …… 副会長 野口幸作	3
会告1 2025年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」	
(第159・160回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)… 教育委員会	4
会告2 2025年度「クリーンデー(中央区内一斉清掃活動)」… 第2地区委員会	6
お知らせ1 2025年度第16地区研修会 …… 第16地区委員会	7
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内 …… 情報委員会	8
報 告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第77回臨時総会(抄) …… 10	
連 載 「消化管造影検査」第5部 大腸・注腸X線検査	
第25回 表面型大腸腫瘍③～側方発育型大腸腫瘍	
(laterally spreading tumor : LST) について～ 安藤健一	14

こ え		
	・第6地区研修会に参加して …… 横田 光	21
	・第6地区研修会 印象記 …… 中島正弘	22
	・2024年度第1回災害対策研修会に参加して …… 小澤祐輔	23
パイプライン		
	・日本診療放射線技師連盟ニュース(2025 No.2) …… 24	
	2024年4月～2025年2月期会員動向 …… 25	
	2024年度第11回理事会報告 …… 26	
	研修会等申込書 …… 30	
	登録事項変更届 …… 31	
	———— Column & Information ————	
	・東放技入会無料のお知らせ …… 9	
	・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 29	

5月号 Vol.72 No.838

診療放射線技師業務標準化宣言 ……	2
巻頭言 備えよ常に(Be Prepared) …… 副会長 浅沼雅康	3
会告1 2025年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」	
(第159・160回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)… 教育委員会	4

会告2 2025年度「クリーンデー(中央区内一斉清掃活動)」… 第2地区委員会	6
会告3 第161回日暮里塾ワンコインセミナー… 学術委員会・国際委員会	7
会告4 2025年度実践集中講習会 ―X線撮影―… 教育委員会	8
会告5 2025年度城東支部研修会 …… 城東支部委員会	9
お知らせ1 2025年度第16地区研修会 …… 第16地区委員会	10
お知らせ2 2025年度第1地区研修会 …… 第1地区委員会	11
お知らせ3 2025年度第2地区研修会 …… 第2地区委員会	12
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内 …… 情報委員会	13
連 載 災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」	
第一部「災害対策マニュアルを作ろう」 5.災害対策マニュアルの目次作り …… 14	
報 告 2024年度公益社団法人東京都診療放射線技師会 厚生調査委員会	
アンケート調査結果「タスク・シフト/シェアの実態調査」… 厚生調査委員会	16
報 告 2023年度奨励賞報告 …… 36	
2023年度学術奨励賞 …… 小野寺志真子	37
2023年度新人奨励賞 …… 佐藤瑞記	41
2023年度新人奨励賞 …… 杉山香奈	

こ え		
	・2024年度 第16地区研修会を開催して …… 関谷 薫	45
	・第19回ペイシエントケア学術大会に参加して …… 江川斗哉	46
パイプライン		
	・第23回看護フェスタ …… 47	
	・第32回日本消化器画像診断情報研究会学術大会 …… 48	
	・日本診療放射線技師連盟ニュース(2025 No.3) …… 49	
	2024年4月～2025年3月期会員動向 …… 50	
	2024年度第12回理事会報告 …… 51	
	———— Column & Information ————	
	・求人情報 …… 50	
	・学術講演会・研修会等の開催予定 …… 54	
	・東放技入会無料のお知らせ …… 55	

6月号 Vol.72 No.839

巻頭言 教育とその先にあるものを信じて … 業務執行理事 鈴木雄一	2
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会 …… 3	
会告2 2025年度診療放射線技師のための「フレッシューズセミナー」	
(第159・160回日暮里塾ワンコインセミナー合同開催)… 教育委員会	4
会告3 第161回日暮里塾ワンコインセミナー… 学術委員会・国際委員会	6
会告4 第24回メディカルマネジメント講習会 …… 学術委員会	7
会告5 第74回きめこまかな生涯教育 …… 学術委員会	8
会告6 2025年度実践集中講習会 ―X線撮影―… 教育委員会	9
会告7 2025年度城東支部研修会 …… 城東支部委員会	10
会告8 2025年度城北支部研修会 …… 城北支部委員会	11
お知らせ1 2025年度第1地区研修会 …… 第1地区委員会	12
お知らせ2 2025年度第2地区研修会 …… 第2地区委員会	13
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内 …… 情報委員会	14
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会資料	
報 告 ・2025年度事業計画 …… 16	

- I. 総括
- II. 定款に基づく本会の事業
- III. 委員会事業計画

報 告	・2025年度予算	29
第1号議案	・2024年度事業報告（案）	31
	Ⅰ. 総括	
	Ⅱ. 事業報告	
	Ⅲ. 活動報告	
	Ⅳ. 活動報告（庶務概要）	
第2号議案	・2024年度決算報告（案）	49
	・2024年度監査報告	58
第3号議案	・役員報酬規程改正（案）	59
パイプライン		
	・第32回日本消化器画像診断情報研究会学術大会	61
	・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.4）	62
2025年4月期会員動向		63
2025年度第1回理事会報告		64
研修会等申込書		67
Column & Information		
	・東放技入会無料のお知らせ	15
	・学術講演会・研修会等の開催予定	63

7・8月合併号 Vol.72 No.840

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 「選挙に行こう!」	会長 江田哲男 3
会告1 第24回メディカルマネジメント講習会	学術委員会 4
会告2 第74回きめこまかな生涯教育	学術委員会 5
会告3 2025年度実践集中講習会 ―X線撮影―	教育委員会 6
会告4 2025年度城東支部研修会	城東支部委員会 7
会告5 第23回サマーセミナー「乳房検査の勘ドコロ」	学術委員会 8
会告6 第20回ベシエントケア学術大会（演題募集）	学術委員会 9
会告7 第162回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 10
会告8 2025年度実践集中講習会 ―CT装置・検査―	教育委員会 11
会告9 2025年度城北支部研修会	城北支部委員会 12
お知らせ1 2025年度第1地区研修会	第1地区委員会 13
お知らせ2 2025年度第5地区研修会	第5地区委員会 14
お知らせ3 2025年度第2地区研修会	第2地区委員会 15
お知らせ4 2025年度第14地区研修会	第14地区委員会 16
叙 勲 瑞宝単光章	18
連 載 災害対策委員会 座談会「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」	
	第二部「アクションカードを作ろう」 1. アクションカードとは? 20
こ え	
	・第15地区研修会感想記 中嶋孝義 25
	・福島県立医科大学 早乙女研究室 第4回たんばぼプロジェクト
	参加報告 笹沼和智 26
パイプライン	
	・第32回日本消化器画像診断情報研究会学術大会 32
	・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.5） 33
2025年4月～5月期会員動向	34
2025年度第2回理事会報告	35
Column & Information	
	・東放技入会無料のお知らせ 17

・求人情報	34
・学術講演会・研修会等の開催予定	39

9月号 Vol.72 No.841

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 暑さ厳しい季節	副会長 関 真一 3
会告1 第20回ベシエントケア学術大会（演題募集）	学術委員会 4
会告2 第162回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 5
会告3 日本診療放射線技師会 永年勤続表彰について	渉外委員会 6
会告4 SRTA学術大会演題募集要項	国際委員会 7
会告5 2025年度城北支部研修会	城北支部委員会 8
お知らせ1 2025年度第5地区研修会	第5地区委員会 9
お知らせ2 2025年度第2地区研修会	第2地区委員会 10
お知らせ3 親睦BBQ大会のお知らせ	厚生調査委員会 11
報 告 2025SRTA学術大会報告	12
パイプライン	
	・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.6） 23
	・日本放射線公衆安全学会 アンケート協力依頼のご案内 24
2025年4月～6月期会員動向	25
2025年度第3回理事会報告	26
2025年度第4回理事会報告	29
研修会等申込書	35
Column & Information	
	・求人情報 25
	・東放見聞録 32
	・学術講演会・研修会等の開催予定 33
	・東放技入会無料のお知らせ 34

10月号 Vol.72 No.842

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 リスク対応力の強化（BCP：事業継続計画）2	副会長 野口幸作 3
会告1 SRTA学術大会演題募集要項	国際委員会 4
会告2 2025年度城北支部研修会	城北支部委員会 5
会告3 荒川クリーンエイド2025	広報委員会 6
会告4 第163回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会、放射線相談委員会 7
会告5 第75回きめこまかな生涯教育	学術委員会 8
会告6 第164回日暮里塾ワンコインセミナー	教育委員会 9
お知らせ1 2025年度第14地区研修会	第14地区委員会 10
お知らせ2 2025年度第13地区研修会	第13地区委員会 11
お知らせ3 2025年度第3地区研修会	第3地区委員会 12
報 告 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第78回定期総会（抄）	13
2024年度 表彰 受賞者	23
連 載 「消化管造影検査」第5部 大腸・注腸X線検査	
	第26回 表面型大腸腫瘍④～側方発育型大腸腫瘍
	（laterally spreading tumor：LST）について～ 安藤健一 24
パイプライン	
	・日本診療放射線技師連盟ニュース（2025 No.7） 30
2025年度第4回理事会報告	31
2025年4月～8月期会員動向	37

・東放見聞録	34
・東放技入会無料のお知らせ	35

11月号 Vol.72 No.843

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 「ノーベル賞が照らす科学の力～未来を築く私たちの専門性と人間力～」	
副会長 浅沼雅康	3
会告1 第163回日暮里塾ワンコインセミナー	4
教育委員会、放射線相談委員会	
会告2 第75回さめこまかな生涯教育	5
学術委員会	
会告3 第164回日暮里塾ワンコインセミナー	6
教育委員会	
お知らせ1 2025年度第13地区研修会	7
第13地区委員会	
お知らせ2 2025年度第3地区研修会	8
第3地区委員会	
お知らせ3 2025年度第4地区研修会	9
第4地区委員会	
報告 関東甲信越診療放射線技師学術大会国際セッション 発表報告	10
関東甲信越診療放射線技師学術大会国際セッション 印象記	14
親睦BBQ大会開催記	15
連載 「消化管造影検査」 第5部 大腸・注腸X線検査	
第27回 0型(表在型)大腸腫瘍～0-IIc(表面陥凹型)について～	16
安藤健一	
2025年4月～9月期会員動向	23
2025年度第5回理事会報告	24
研修会等申込書	31

・求人情報	23
・東放見聞録	28
・学術講演会・研修会等の開催予定	29
・東放技入会無料のお知らせ	30

12月号 Vol.72 No.844

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 学術と教育	3
業務執行理事 市川重司	
会告1 2026年「新春のつどい」のご案内	4
会告2 第25回合同学術講演会	5
学術委員会	
会告3 第165回日暮里塾ワンコインセミナー	6
学術委員会	
会告4 2025年度実践集中講習会—MRI装置/検査—	7
教育委員会	
会告5 第166回日暮里塾ワンコインセミナー	8
教育委員会	
会告6 第23回ウインターセミナー	9
学術委員会	
お知らせ1 2025年度第4地区研修会	10
第4地区委員会	
お知らせ2 2025年度第9地区研修会	11
第9地区委員会	
お知らせ3 2025年度第15地区研修会	12
第15地区委員会	
お知らせ4 東放技会員所属地区のご案内	13
情報委員会	
報告 東京都功労者表彰	14
連載 災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」	
第二部「アクションカードを作ろう」 2. アクションカードを利用した机上訓練	16
こ え	
・2025年度第5地区研修会報告	19
成田拓海	
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2025 No.8)	20
・第25回合同学術講演会	21
・臨時甲状腺簡易測定研修会のお知らせ	22
2025年4月～10月期会員動向	24
2025年度第6回理事会報告	25
2025年東京放射線総目次	29
研修会等申込書	34
登録事項変更届	35

・学術講演会・研修会等の開催予定	24
・東放見聞録	33

東 放 見 聞 録

MBTIってご存じでしょうか？

少し前にSNSなどで話題になっている性格診断のひとつです。少し長いのですが、15分ほど質問に答えることで、16タイプに分類され、自分の性格傾向を知ることができます。かつては血液型による性格診断が流行していましたが、現在は、統計学的なアプローチを用いて、より個人の内面に寄り添った診断結果が出てきます。

MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) は、心理学者ユングの理論をもとに開発された性格分類法で、以下の4つの指標を組み合わせることで16タイプに分類されます。

- 外向型 (E) / 内向型 (I) : エネルギーの向かう方向
- 直観型 (N) / 感覚型 (S) : 情報の受け取り方
- 思考型 (T) / 感情型 (F) : 意思決定の基準
- 判断型 (J) / 知覚型 (P) : 物事への取り組み方

この4つの軸の組み合わせによって、自分がどのように世界を捉え、他者と関わり、意思決定をしているかが見えてきます。ちなみに、私のMBTIタイプは「ENFP」です。外向的で直観的、感情型で知覚型と診断されました。

ではこちらの結果を総合すればどのような表現となるのでしょうか？

出てきた結果は、【根っから自由奔放な人たちで、社交的でもあり心が広いという特質もあります。】※一部抜粋

もっと詳細に説明が記載されていますが、意外と当たっているところもあるので、もし気になる方がいらっしゃったらぜひ調べてみてください。さて、この診断を通じて、ふと「職業によってMBTIの傾向が偏っているのでは？」と思いました。例えば、論理的思考が求められるエンジニア職にはINTJやISTJが多く、対人関係が重視される営業職にはENFPやESFJが多い傾向があるかもしれません。もちろん、職業と性格は一概には結びつけられませんが。

MBTIは単なる性格診断ではなく、自己理解を深めるツールとして使ってみるのもいいかもしれません。言語化されているので、「そうそうあってる!」とかで盛り上がりたりするのも。また、自分の強みや弱みを客観的に見つめ直すことで、人間関係に役立つかもしれません。考え方が真反対の人にはどのように歩みよればいいのでしょうか。参考までに、一度診断してみたいかがでしょうか？

ぺん

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回		
開催日	年 月 日() ～ 月 日()		
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック		
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県		
ふりがな			
氏 名			
性 別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性		
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []		
	TEL (必須)		
	FAX		
	メール (PCアドレス)		
備 考			

FAX 03-3806-7724

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿
公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会 員 番 号	
氏 名	印
氏名（カタカナ）	
性 別	男性 ・ 女性
生 年 月 日	昭和 ・ 平成 年 月 日生
メールアドレス	

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓（変更後の氏名）	
------------	--

□送付先変更

現在の送付先	勤務先 ・ 自宅
新 送 付 先	勤務先 ・ 自宅

□住所等の変更

新 勤 務 先	勤 務 先 名	部署
	勤務先所在地	〒 ー
	電 話	
旧 勤 務 先		
新 自 宅	現 住 所	〒 ー
	電 話	
旧 自 宅 住 所		

□その他

通 信 欄	
-------	--

受 付 年 月 日
確 認 年 月 日 印

Postscript

今シーズンのインフルエンザは例年よりも早く流行しており、全国的に患者数も増加傾向で地域によっては学級閉鎖も発生しているようです。我が家でも予防接種を受けていますが、毎年子供達は注射が嫌いで渋々受けています。今年知ったのですが、日本でも2024年から鼻に直接スプレーするタイプの「フルミスト」という生ワクチンが出ており、注射が嫌いな小児がいる家にはありがたい限りです。

フルミストは、鼻の粘膜に直接免疫をつける生ワクチンで、インフルエンザウイルスが主に気道粘膜に感染することから、感染予防効果が高いと考えられており、不活化ワクチンである従来の注射インフルエンザワクチンの予防効果が4～5ヶ月程度なのに対し、生ワクチンであるフルミストは約1年と長く持続する特徴があるそうです。

対象年齢は2歳から19歳未満と短く、費用も大体8,000円から9,000円と割高（一部の自治体では助成制度あり）ではありますが、1回で済んで注射をしなくていい点など子供達にはメリットが多い予防接種です。

ただ従来の予防接種もそうですが、接種要注意の対象があったり、副反応（鼻水、鼻づまり、咳、喉の痛み、頭痛などの風邪のような症状など）が出ることは変わらないのでちゃんと確認が必要で、ワクチンの効果が出るのが接種後約2週間なのでそれまでは感染に注意が必要です。

今年は子供達の周りでも鼻からの予防接種をしている子も出てきているようで、我が家も導入を懇願されています。親としては出費が痛いですが、子供達の負担を考えると採用を検討しているところです。

B. F. S

■ 広告掲載社

富士フイルムメディカル(株)

キヤノンメディカルシステムズ(株)

光製薬(株)

東京放射線 第72巻 第11号

令和7年11月25日 印刷（毎月1回1日発行）

令和7年12月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 江田 哲 男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

岩井 譜憲

森 美加

田沼 征一

志田 晃一

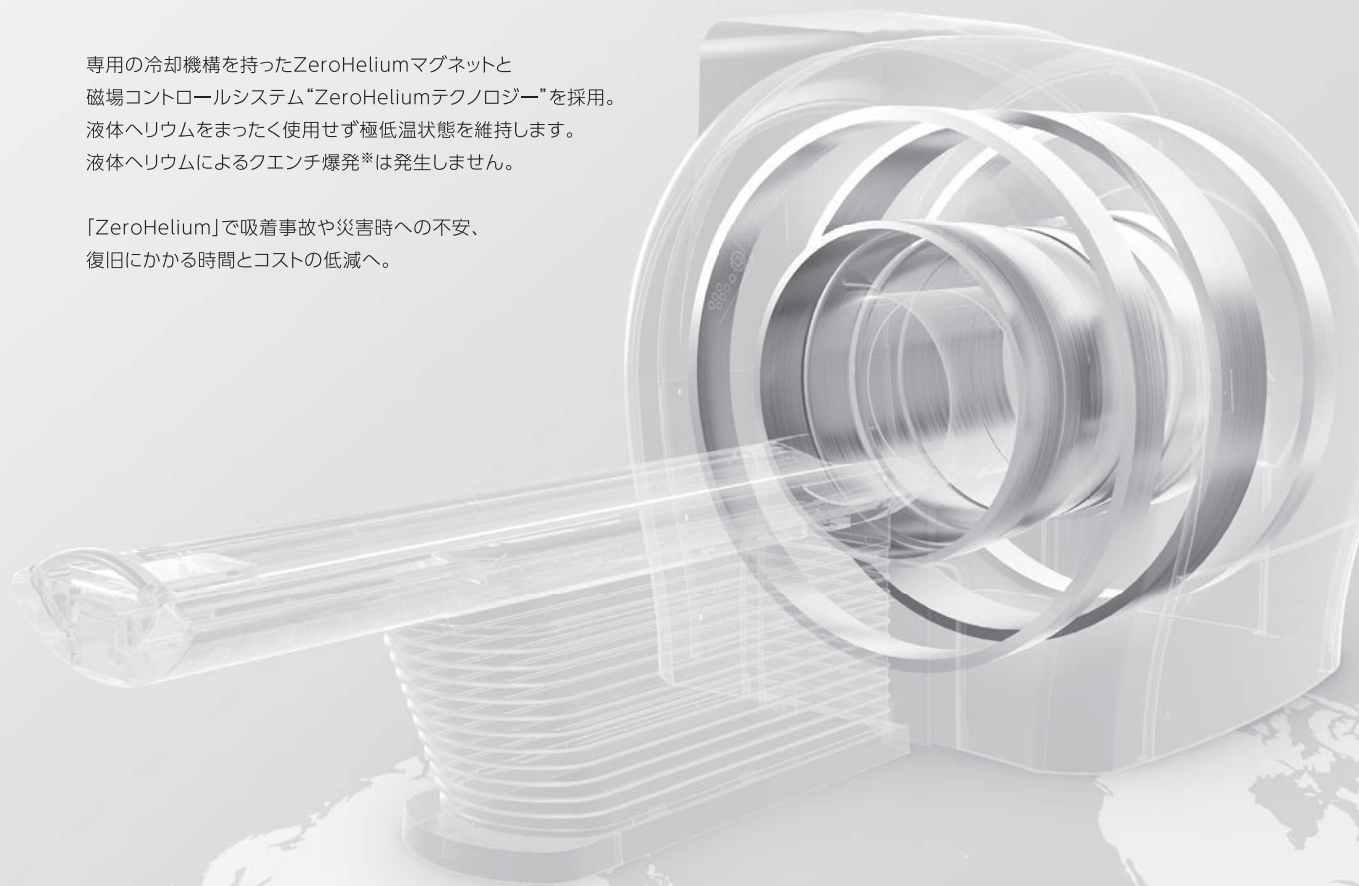
浅沼 雅康
(担当副会長)

FUJIFILM
Value from Innovation

液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



ECHELON Smart ZeroHelium



REiLI

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者

富士フイルム株式会社

販売業者

富士フイルム メディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル

fujifilm.com/fms/

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フイルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

〒二六〇〇三 荒川区西日暮里二二二一五〇五
発行所 公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX(〇三)三八〇六七七二四

印刷所

東京都墨田区立川二一七一七
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円(税込)